

一層の信頼を確保するために できること

ユニバーサルデザインフードは、2017（平成29）年5月末時点で1,853品目が登録を受け流通しています。もちろん、改廃はあるもののその数は年々増え続けています。

UDF マーク取得のための申請方法については、2003（平成15）年のユニバーサルデザインフード自主規格（第1版）の運用開始以来、その要件となっている申請製品の物性値および区分等の情報について、会員各社によって「UDF マーク表示申請書」に記入された内容を協議会（事務局）が確認し、誤りがなければ製品へのUDF マーク表示を承認する第三者認証方式を採っています（他、製品パッケージの表示事項などについても確認します）。

一方で、冒頭にご紹介したように近年では登録製品数の増加はもちろんのこと、新規加入会員も増える傾向にあります。このような中、信用を維持しつつ、将来に渡り利用者の皆様に安心してユニバーサルデザインフードをご利用いただくためには、製品に対する信頼性を一層高めていくことが我々の責務です。そこで協議会では、会員からの要望を受け、このために必要な事項について検討を開始しました。

技術委員会による審議では、UDF マーク申請のあり方に着目、各社内での申請製品に対する責任をより明確化するとともに、物性測定手順や品質管理の具体的な方法の提示を申請の条件として加えることといたしました。これによりユニバーサルデザインフードの信頼性をさらに担保できるとの考え方で、具体的には、まず各社に2名以上（担当者およびその上長）の配置を義務付けます。申請に際しては、単に物性値と申請する区分を記述するのみでなく、物性測定手順（測定に使用した什器の詳細情報はじめ、使用したLOT、測定時の試料調製方法、測定温度の確認等）の詳細を明確に記入した書類を

担当者が作成し、この内容を上長が確認した上で、協議会へ提出し承認を受ける仕組みです。

この新しい申請方法は今年度から運用を開始してまいりますが、協議会ではすべての利用者の皆様にこれからも安心してお使いいただけるブランドとして、会員企業とともにUDFを一層まい進させていく所存です。

【会議、催事等の予定】

- 7月7日（金）第16回定期総会・講演会・懇親会（ホテルメトロポリタンエドモント）
- 7月10日（月）第2回共同研究WG（本会会議室）
- 7月11日（火）UDF（ユニバーサルデザインフード）の日記念日報道発表会（ベクトルプラザ）
- 7月20日（木）第1回容器包装研究会（本会会議室）

【UDF 商品登録状況（1,853品目・5月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	1	12	0	85	98
冷凍食品	275	233	640	27	0	1,175
常温食品	123	147	198	111	1	580
合計	398	381	850	138	86	1,853

【会員の異動（5月）】

退会会員4社（株）いちまる、江崎グリコ(株)、(株)昔亭、宮坂醸造(株)
計67社（5月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2
翔和神田ビル3階
TEL 03-5256-4804
FAX 03-5256-4805
<http://www.udf.jp/>